

平成29年度 第2回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	平成29年度 第2回安曇野市図書館協議会
2	日 時	平成29年10月19日 午後1時30分から午後3時まで
3	会 場	安曇野市穂高交流学習センター 多目的交流ホール
4	出席者	三澤会長、田村副会長、中村委員、西村委員、銭坂委員、福澤委員、樋口委員 川名委員、望月委員
5	市側出席者	丸山図書館交流課長兼中央図書館長、青柳豊科図書館長、遠藤三郷図書館長、百瀬堀金図書館長、小笠原明科図書館長、細田課長補佐、奈良澤副主幹、沖副主幹
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	2 人 記者 1 人
8	会議概要作成年月日	平成29年10月31日

○会議の概要

1 開会 (丸山課長)

2 あいさつ (三澤会長)

3 協議・説明

(1) 第2次安曇野市図書館基本計画について

・市民ワークショップ報告について

・第2次安曇野市図書館基本計画の基本方針の検証等と今後の方向性について

(2) その他

4 その他

(1) 図書館フェスタ実施報告について

(2) 三郷交流学習センター建設事業について

・工事の進捗状況について

・愛称投票状況について

3 協議・説明概要

(1) 第2次安曇野市図書館基本計画について

事務局・第2次安曇野市図書館基本計画の説明の前に、市民の皆さんの身近なご意見をお聞きする機会として7月22日に開催した「市民ワークショップ」について報告します。5人のグループに分かれ、「図書館資料に関すること」「サービス、運営に関すること」「施設、設備に関すること」というテーマでご意見をいただきました。最終的に2つのグループから「誰でも利用しやすい身近な図書館」、「知と心が満たされる図書館」「気軽に集える図書館」にしてほしいというまとめをしていただきました。いろいろご意見をいただいた中で、すぐ取り組めるところについては実践をさせていただき、また図書館基本計画の中にも盛り込んでい

ければと思います。

事務局・第二次計画の説明に入ります。第一次計画の検証ということで、第一次計画策定時の目標値の達成状況、昨年度行いました市民アンケート調査の結果を勘案して、事務局で評価しました。また、現在、市が平成30年からの総合計画を策定しています。それらを勘案し、今後の方向性、計画にどのような内容を取り込んでいくかということを記載しています。全体的に第二次計画の方向性につきましては、第一次計画の性格を継続しながら深めていく、進化させていくことが第二次計画の試案だと思います。今後本市では、昨年ご検討いただきましたように、人口減少、少子高齢化社会が続くと考えられます。また、財政状況につきましては今以上に厳しくなるかと考えられます。限られた予算、人員などの資源を上手に引き出して、どのように図書館サービスを図っていくかということが一番大きな課題と思っています。本日、委員の皆様方からご意見いただき、次回、第二次計画の素々案または骨子に入れていきたいと思っています。ご意見をいただければと思います。

議長・事務局より、6つの基本方針をもとに進めていくということでありすけれども、委員さんからご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

委員・最後の「本市の方向性」のところが一番聞きたいところです。その点について「どう深めるのか」そのあたりを確認させていただければと思います。

事務局・市内の図書館整備は完了します。今後、今ある施設をどのように生かしていくかということが大切になると思います。具体的には、今あるそれぞれの事業をブラッシュアップし、市民の皆さんの声をどのような手段でいただっていくかというようなことを考えながら施策をつくっていききたいと思っています。

委員・昨年度まで、この場での話し合いで、民営化する場合、直営の場合という両論表記で最終的にまとまりましたが、それについては今どのように進めているか教えてください。

事務局・昨年、検討していただいたアウトソーシングですが、アウトソーシングの計画が市にあります。その中で、図書館と交流センターも含め、外部に委託できるかどうかを検討するアウトソーシング計画となっています。昨年検討していただき、外部に委託する、今までどおり直営でという2つの意見を併記して報告書を提出していただきました。今のところ、すぐに外部へ出すということではなく、もう少し時間をかけて内部で検討していく予定です。

委員・時間をかけて検討するということがですが、誰がどのように検討していくのか。

事務局・昨年まで委員さんに検討していただき、両論併記になっています。それを受け、市でもう一度アウトソーシングに馴染むものかどうかを、内部で検討していきます。

委員・図書館を「生涯学習の拠点として余暇活動を支援する施設」というのを書いてあるのがとてもうれしいです。また、貸出数だけではなくて、年齢層や男女比、職業など、詳細の統計が出ていけば教えてほしいと思います。それにより、図書館でそろえる、市民が望んでいるニーズ、それに関する蔵書のジャンルというものも変わって

くると思います。また、このようなことが分かると「安曇野市の目指す地域像」「こういう安曇野市にしたい」「まちづくりをこんなふうにしていきたい」という一助になると思います。

委員・アンケート、利用状況などをみると、思春期の方が使うような図書館に、今なっていないような気がします。全国の図書館を見ると、中学生の居場所的な役割を果たす機能がありますが、安曇野市の図書館だと、そこまで中学生が行く動機みたいになっているエリアが余りない。例えば、塩尻市は不登校の方が来られるようなスペースがあったり、思春期コーナーみたいなゾーンがあったりと、その年齢ターゲットの居場所や興味のあることを深く追求していくエリアがあります。安曇野市ではどうでしょうか。

事務局・中央図書館では、昨年度からYA（ヤングアダルト）コーナーを設置しました。中高生向けの図書の展示や「つぶやきノート」を今年度から置いて、自由にご意見を書いていただいています。また、ここは交流学习との複合施設ですので、フリースペースや自習室には、試験前や夏休みなどは、かなりの中高生が来て賑わっています。

委員・関連して、以前、市の図書館司書さんが、不登校のお子さんを図書館に引き入れるという活動をされていました。学校図書館と市図書館が連携を深めて、そういう子供たちの居場所みたいなものができるといいなという半面、すごく難しいことだとも思います。市や小学校などが連携してそういう子供たちを受け入れるスペースをつくれたらいいなと思いました。

委員・電子書籍など電子媒体による収集、整理、提供を検討とあります。今後、図書館の計画を進めていく中で、どんな状況があらわれるか、シミュレーションをしてほしいと思います。

委員 先ほどの「利用者の資料提供」の質問はどうでしょうか。

事務局・利用者の資料提供については、年齢層の貸出数はわかると思います。次回お示しします。また、先ほど委員さんのご意見について、ご意見としていただきたいと思います。事務局では気がつかないことがありますので、ご意見をいただければと思います。

委員・「市民の情報リテラシーの向上に努めていきます」とあります。図書館で情報を得るツールとしてネットやメディアとか使えるようになりましたので、そういう市民へのメディアリテラシー（情報を評価・識別する能力）という場にしてほしいです。

委員・基本方針が掲げられていますが、「具体的にこういうことを」というところが聞きたいです。具体的なことが見えてきたら教えてほしいです。

委員・「図書館の利用に障がいのある方々を支援します」というのがあります。障がいを持っている方にとって利用しやすい施設、それから、他機関との連携で、例えば福祉施設との連携、職員配置、それから、ワークショップという話が出ましたが、そういう障がいをお持ちの方の意見を聞くなど、少しでも手のつけられるところがあればと思います。

議長・基本方針については、異論はありません。でも具体的にどう進めていくかというところが重要だと思います。できれば、市民の意見を反映できるような場所なりシステムなり構築してほしい。そういうものを構築して、具体的に「実際に使ってみたらこういう問題がある」「こうしたらもっと使いやすくなる」というものを受けとめていただける窓口を考えていただきたいと思います。

委員・関連して、基本方針は概念的なことが書かれています。しかし「具体的に市では何がどこまで行われていて、今後何がある」というところが分からない。ということは市民の方も分からないのではないかなと思いました。例えば目の見えない方に関して、点字打ちや音声朗読、手話のサービス、また、図書館を中心に「豊かに生きる」という切り口で、ワークショップ、絵本を手話で覚えるとか、できる範囲で少しずつ具体的にしていければと思います。

委員・障がいを持っている方たちみんなが理解できるようなまちになっていけばいいなと、そして、その一つの場所として図書館が機能していけばいいなと思います。

委員・今後、基本計画案が具体的に変わったときに、意見する場はありますか。

事務局・今後、本日の意見を入れながら案をつくり、また、お示ししたいと思います。そこでご意見をいただき、パブリックコメントを出して、計画をつくる最後の段階でもう一回ご確認をいただくというような手順を踏んでいきたいと思っています。

委員・図書館に行きたいけれども、やはり歩いては行けない人はたくさんいると思います。「あづみん」のような乗り物で図書館へ行けるような、公共の足を提供するということを考えてほしいと思います。

事務局・今のご意見ですが、講座があっても行けない現状もありますので、今、市の全体の公共交通機関について、公共交通計画を策定中だと思います。そちらのほうで全市的な取り組みの検討をさせていただいていると思います。

議長 第二次の図書館計画についてはよろしいですか。より自分たちが使いやすい図書館なり学習センターになるような、そんな方策が見つかればと思います。

(2) その他

議長 (2) のその他ですが、事務局からは特にないようですが、委員さんから何かございますか。特にないようですので次へいきますが、よろしいですか。

4 その他

(1) 図書館フェスタ実施報告について

議長 それでは、続いて、図書館フェスタの実施報告についてお願いいたします。

事務局・毎年9月の第2週の土日に図書館フェスタを開催しています。この図書館フェスタは、ふだん図書館利用

をしない方、余り図書館を知らない方にぜひ来ていただくきっかけをとということで、さまざまな催し物を用意をし、開催しています。今年度の実施状況で、来場者数でございます。9日土曜日は2,022人、10日の日曜日は1,726人ということで、全体で3,748名の方に来館していただきました。通常の2倍、3倍の来場者です。2日目は地域等のイベントと重なりども来場者が少ない状況です。毎年この時期に開催していますが、少しでも図書館を知っていただく機会ということで、また来年もいろいろなイベント、催し物を考え、企画をしていきたいと思っています。参加された方のアンケート等を参考に、また来年に向けて計画したいと思います。

(2) 三郷交流学習センター建設事業について

議長 三郷交流学習センターの進捗状況をお願いします。

事務局・今年1月から工事が始まり12月末の工期となっています。当初の予定どおり工事が進んでいます。現在、外観が終わり、内装工事に入っています。12月末に建物は竣工しますが、その後、図書館の開館準備ということで、2カ月程度お時間いただき3月10日開館する予定です。また、三郷交流学習センターの愛称の投票について、愛称の応募に472件の応募をいただき、その中から7つの候補を愛称候補選考委員会で決定。この7つの候補の中から市民の皆さんに投票していただき、愛称の決定をしていきます。関心が高くて、多くの皆さんから投票をいただいている状況です。

議長・今2つ説明について、ご質問等ございますか。よろしいですか。無いようですので、平成29年度第2回図書館協議会を閉じさせていただきたいと思います。ありがとうございました。